

二〇二七年前進座京都初春特別公演

京都府・京都市・京都新聞後援

山田洋次監督書き下ろし

おひさぶんしちこいのもっとい

お久文七恋二元結

山田洋次 監修・脚本 小野文隆 演出

近江屋卯兵衛
藤川矢之輔

長兵衛娘 お久
横山由依

近江屋手代 文七
早瀬栄之丞

長兵衛女房 お兼
河原崎國太郎

左官 長兵衛
柳生啓介

近江屋番頭 善六
曾我廻家寛太郎

美濃屋女主人 お福
山崎辰三郎

家主 吾助
嵐芳三郎

2027年1月6日(水)～11日(月祝)

新春観劇のつどい

2027年 1月11日(月・祝) 午後15:30 開演

京都駅ビル内 **京都劇場**

〈後援会料金〉1等席 7,200円 (定価10,500円) 2等席 4,000円 (定価5,500円)

〈お申込み〉京都府日本共産党後援会 TEL:075-211-5371 FAX:075-212-7453 MAIL:jcp.koen@gmail.com

〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186

二〇二七年前進座 京都初春特別公演

お久文七恋元結

山田洋次 監修・脚本
小野文隆 演出

装置 照明 音楽
乗井真澄 桜井雅寛 佐幸彦



横山由依



松涛喜八郎



柳生啓介



河原崎國太郎



藤川矢之輔



嵐市太郎



早瀬栄之丞



江林智施



嵐芳三郎



山崎辰三郎



松宮美菜



松川悠子



松永瑠



曾我廼家寛太郎

【よこやま・ゆい】
2009年にアイドルグループAKB48第9期生メンバーとなり活動を開始。2015年から2019年までAKBグループの2代目総監督を務めた。2021年に卒業し、現在は女優・タレントとしてテレビ、ラジオ、CMと幅広く活躍。近年の主な舞台出演作に、『酔いどれ天使』『ハザカイク』『美しく青く』『Cape jasmine』『ミュージカル『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』など。

【そがのや・かんたろう】
松竹新喜劇所屬。上方喜劇を代表する舞台俳優の一人。松竹新喜劇をはじめ氷川きよし・純烈などの大劇場公演でも引っ張りだこ。NHK『おちょやん』『ブギウギ』『鷹作男はつらいよ』等に出演。昨年の『裏長屋騒動記』で抱腹絶倒の活躍。その成果も含め、第47回松尾芸能賞を受賞。



山田洋次監督の書き下ろしによる喜劇最新作。人情噺の中でも指折りの名作・人気作とされる「文七元結」（三遊亭圓朝作）。若い時から落語に親しんでいた山田監督にとつ

ても「文七元結」は、ひととき思い入れのある一作です。この度は、原作である「文七元結」の面白さを活かしつつも、後日譚とも言えるお久と文七の恋をめぐる新しいストーリーを着想。一途でそっかしい登場人物たちの可笑しくも愛おしい喜劇が巻き起こります。『裏長屋騒動記』『一万石の恋』に続く山田洋次×前進座の喜劇シリーズの三作目が実現。山田監督のあたたかな庶民目線と前進座ならではの歌舞伎仕立てで創り上げた舞台になりました。

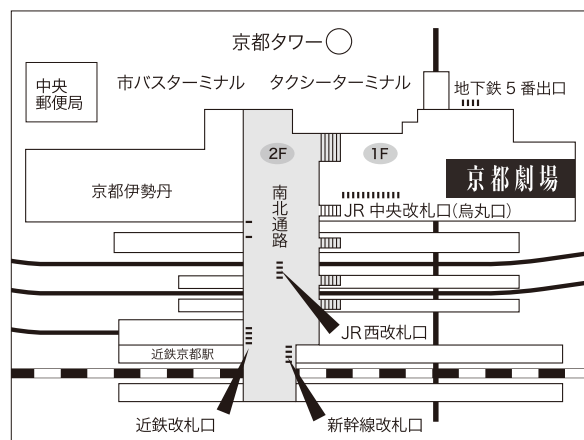
特別出演のお二方も加わったいっそうパワフルで華やかな、とびきりの喜劇をお楽しみください。

ものがたり

近江屋の手代文七は、得意先から受け取った大金五十両を失くしてしまふ。身投げして詫げるしかないと思いつめたところに左官の長兵衛が出てくわす。長兵衛は人の命には代えられないと娘のお久が身売りしてまで持えた五十両を見ず知らずの文七に与えてしまふ。長兵衛の度外れた善意と文七の思い違いで両家は大混乱！それがめでたく収まるうとしたところ、お久と文七は運命の出会いをするのだが、これが新たな大騒動へ向かってしまふ！



交通機関から京都劇場へのご案内



京都駅中央改札口(烏丸口)から徒歩1分
新幹線JR・近鉄京都線・京都市営地下鉄各線京都駅下車徒歩約4分

京都劇場

2027年1月6日(水)～11日(月・祝)
午前の部 11:00 開演／午後の部 15:30 開演

今年の共産党後援会の前進座新春公演は、三遊亭圓朝の人情噺「文七元結」をベースにして、明治の初演以来、数多くの歌舞伎で上演されてきた文七元結を「フーテンの寅さん」の監督山田洋次さんが、楽しく、そして人の機微を織り込んだ人情噺の歌舞伎に創り上げています。

前々回は京都府出身の林与一さん、今回はお久役にやはり京都府木津川出身の元AKB48の横山由依さん、そして松竹新喜劇の曾我廼家寛太郎さんの特別出演で、多くの皆さんに楽しんで頂ければと思います。

高市政権は、アメリカのイラン戦争に口をつぐみ、石油由来製品の不足や私たちの暮らしを圧迫する物価高騰、医療制度の改悪、戦争する国づくり、憲法改悪へ来年春には改憲発議を言い、情報会議・情報局設置法の制定で私たちの目、耳、口を塞ぐために戦前の治安維持法と言われるスパイ防止法制定に前のめりに進み、多くの野党は右へ右へとたびき、高市政権の翼賛国会のような危険な状況です。

来春は統一地方選の年であり、日本共産党の躍進で高市政権の悪政に京都の地方議会から怒りの狼煙を上げる第一歩として、ぜひ新春公演の観劇をお願い致します。

京都府日本共産党後援会
事務局長・原田 完